



《主な内容》

▽鯉ヶ沢高校

▽いきいき情報

▽お知らせ

鯉高の取組と町の支援

超高齢社会について考える学習会 ほか

除排雪作業にご協力を

新型コロナウイルス感染症

対策資金利子補給補助金 ほか

《今月の表紙》

稲刈り体験学習（舞戸小）

舞戸小学校の5年生24名が、春に植えた稲の刈取り作業を体験しました。児童は鎌を上手に使い、一生懸命稲を刈り取っていました。

なりたい自分が見つかる！
やりたいことが見つかる！
充実した高校生活が送れる！

鰯ヶ沢高校！

～ 鰯高の取組と町の支援～



令和6年度入学生用
鰯ヶ沢高校 学校案内



これまで広報あじがさわでお知らせしたとおり、町内唯一の高校である「鰯ヶ沢高校（以下、鰯高）」は、今年度から地域に指定されており、来年度の入学人数が20名未満の場合は募集停止に向けた話し合いに入ります。

現在、鰯高では、鰯高存続を目指し、令和6年度の入学生を全国から募集するとともに、より魅力的な学校にするため様々な取組にチャレンジしています。

今月号では、鰯高存続に向けた学校の取組と、それをバックアップする町の支援策をご紹介します。



学生寮として整備する医師住宅

鰯ヶ沢高校の主な取組

- ①個性を大切にし、誰一人取り残さない教育を実施
- ②様々なことに挑戦できる環境づくり
- ③登校時間の繰下げ
- ④学校説明会への積極的な参加

鰯高では、全校生徒数31名という小規模校の強みを活かし、一人ひとりの習熟度に合わせたマンツーマンでの学習指導を行っています。

また、教師と生徒の距離が近く、何かあればすぐに相談できる体制を整えており、生徒の自主性を尊重して、様々なことに挑戦できる環境づくりに取り組んでいます。

ほかに、町外から通う生徒に配慮し、今年4月に登校時間の繰下げを行ったほか、全国や近隣市町の中学生を対象とした学校説明会に積極的に参加し、鰯高の魅力をもPRしています。

町の主な支援

- ①県外から入学する生徒のための学生寮の整備と生活支援
- ②県外からオープンスクール（学校見学）に参加した生徒やその保護者の交通費の一部補助

- ③鰯高支援事業助成金（※）
- ④通学バスの運行
- ⑤鰯高みらい塾の継続実施 など

町は、県外から入学する生徒の入居を想定し、町内にある医師住宅3棟を学生寮として整備する改修を進めています。それぞれ男子棟、女子棟、食事などを行う共通棟として使用される予定です。なお、県外からの入学生がいなかった場合は、移住対策としてお試し移住者への貸出などに活用する予定です。

また、県外から入学する生徒に対する生活支援を予定しています。

このほかにも、鰯高支援事業助成金の交付（※次ページ参照）やJR鰯ヶ沢駅から鰯高までの通学バスの運行、地域で活躍できる人材育成を目的とした鰯高みらい塾などを継続し、鰯高をバックアップしています。

引き続き鰯高と町は一体となって、全国の中学生から選ばれた高校を目指すとともに、生徒が楽しく有意義な学生生活を送ることができる高校を目指し、鰯高魅力化に取り組んでいきます。

学校生活を盛り上げる！ 特色ある部活動などを紹介



全国でも珍しいTikTok部では、りんご娘のピンクレディさんが顧問を務め、鯨高や町の魅力を短い動画で世界中へ発信しています。鯨高生が感じる「鯨高や町の魅力」とは！？気になる方はTikTokで [@ajikou1943] をチェック！



今年9月に発足した野外活動部は、町の豊かな自然を活かした活動を展開中！山でのキャンプ、海での釣り、川でのラフティング体験などを実施しているほか、町の特産品イトウなどの飼育にも取り組んでいます。

鯨高卒業生の主な進路

就職先（過去3年）

県内
(編)鯨ヶ沢町社会福祉協議会、青森総合警備保障(株)、(編)拓心会デイサービスセンター和み、(株)今工務所、富士見総業(株)、五所川原職業安定協会、太平ビルサービス(株)、山田板金工業(株)、津軽開発(株)、(株)工藤パン、つがるにしきた農業協同組合、(株)マルハン など
県外
(株)ホテルきよ水、(株)全日警
公務員
青森県警察、青森県警察事務、鯨ヶ沢町

進学先（過去3年）

大学・短期大学
【国公立】青森公立大学 【私立】弘前学院大学、弘前医療福祉大学 【短大(私立)】柴田学園大学短期大学部、青森中央短期大学
専門学校
S.K.K情報ビジネス専門学校、弘前厚生学院、厚生看護専門学校、東奥保育・福祉専門学院、青森中央経理専門学校、秋田しらかみ看護学院、仙台デザイン&テクノロジー専門学校、国際医療福祉専門一関校 など

※鯨高支援事業助成金を活用した支援

町は鯨ヶ沢高校後援会に対し「鯨ヶ沢高校支援事業助成金」を交付しています。

後援会では、鯨高の発展や魅力化を推進するため、助成金を以下の事業に活用しています。

- ・ドローンライセンスをはじめとした各種検定試験の試験費用補助
- ・流し踊りに使用した浴衣のクリーニング費用補助
- ・入学時必要経費の補助 など

(上記には企業版ふるさと納税を活用しています。)



全国の生徒に向けたPR活動

- ・6～8月にかけて、オンライン説明会を実施（生徒、教員、町職員が参加）
「わが町自慢」や「特徴的・探求的な学び」、「ゴルフ部」について生徒がPR
- ・9月に東京都で対面説明会を実施



オンライン説明会に挑む鯨高生



ラジコン草刈機の性能を確かめる参加者

市民風力発電などがラジコン草刈り機を実演

9月6日、七里長浜風力発電所を運営する株式会社市民風力発電（鈴木亨代表取締役）と株式会社CSS（吉住謙代表取締役）が、基金を活用した農業支援策検討のためラジコン草刈機の実演を行い、農家など約20名が参加しました。

参加者は、法面に生い茂った雑草や雑木を長さ約1.5m、幅約1.1mのラジコン草刈機が勢いよく刈り取っていく様子を見たり、実際に操作するなどして性能を確認していました。

参加者からは「操作が簡単。草刈り作業の負担軽減につながりそう」といった声が聞かれました。

舞戸小学校児童が大津災害を振り返る

9月12日、大雨災害をテーマとした防災教室が舞戸小学校（三橋豊校長）の5年生24名を対象に行われました。

防災教室では、救急救命士から業務内容や毛布などを使った応急担架の作り方を教わったほか、弘前大学・小岩直人教授とともに昨年8月の大雨災害の発生要因などについて振り返りました。その後、被害にあった舞戸地区を実際に歩いて、浸水した深さを確かめて回りました。

当時、祖母宅へ避難した谷村瑠璃さんは「もし同じ状況になったら、警報などに注意して早めに避難するようにしたい」と話していました。



写真から浸水時の深さを確かめました



海上からの景色を楽しむ参加者

あじがさわ歴史さんぽ～海と陸からみる「鱈ヶ沢」～

9月17日と23日、町は「あじがさわ港町歴史さんぽ」を開催し、町内外から参加した約35名がまちの歴史を学びながら鱈ヶ沢漁港や天童山などを訪ね歩きました。

これは、町教育委員会の中田書矢総括学芸員の解説のもと、鱈ヶ沢の歴史や文化にまつわる場所を巡るもので、今年は、海と陸からみる「鱈ヶ沢」をメインテーマに行われました。

17日に行われた回の参加者は、漁船に乗って海上から鱈ヶ沢の景色を堪能し、津軽藩の御用港として北前船が港に出入りし、繁栄を極めていた鱈ヶ沢に思いを馳せていました。

富田名重さんが消防団長に再任

9月22日、町役場で「鱈ヶ沢町消防団長辞令交付式」が行われ、富田名重さん（新町）が再任されました。任期は令和5年9月22日から令和9年9月21日までの4年間で、今回の再任で2期目です。

平田町長から辞令を受け取った富田さんは「消防団としての役割や機能を維持するため、消防団の在り方を再編成していく」と今後の抱負を述べました。

町消防団の団長・副団長は下記のとおりです。

団長 富田 名重（新町）
副団長 相馬 良治（長平町） 神 信義（湯舟）
 今野 道義（本町） 石田 義弘（山子）



（左から）再任された富田団長と平田町長



巡視船おいらせの操縦席に座る生徒

鱈ヶ沢中学校生徒が海上保安業務を学ぶ

9月22日、青森海上保安部による「体験型キャリア教育学習」が青森市内で行われ、鱈ヶ沢中学校（相馬治校長）の1年生60名が海上保安業務を学びました。

生徒は、火災消火時などに使用されるライフゼム（空気呼吸器）の着用体験をしたほか、巡視船おいらせの操舵室などを見学し、操縦席からの景色を眺めたり、機器の説明を受けるなどしました。

須藤雅道君は「大変そうだがやりがいのある仕事だと分かった。将来の選択肢が増えた」、齋藤結衣さんは「学んだことを今後に活かしていきたい」と話していました。

地婦連が研修集会を開催

9月27日、鱈ヶ沢地域婦人団体連絡協議会（工藤八子会長）が「婦人研修集会」を開催し、約25名が参加しました。今年は、鱈ヶ沢町から深浦町までの北前船の足跡を探ることをテーマに行われました。

一行はまず、天童山公園を見学。見晴らしの良い景色を見ながら、天童山と鱈ヶ沢港の関わりについて町学芸員の説明に耳を傾けました。また、深浦町の円覚寺では、北前船によって運ばれてきた文化財の数々を見学し、北前船が運んだ多くの伝統や文化に関心していました。

工藤会長は「今後とも会員の教養となるような事例を取り上げ、意欲的に計画していきたい」と話していました。



円覚寺の文化財を見学する参加者



雑木の伐採作業を体験する児童

西海小学校児童が林業を学ぶ

9月、津軽森林管理署（佐藤智一署長）と津軽白神森林生体系保全センター（高木善隆所長）が町内の小学校を対象に「林業体験学習」を開催しました。これは育樹体験などを通じ、林業や森林の働きに対する理解を深めることを目的として毎年行われています。

28日には、西海小学校（川浪久和校長）の3、4年生13名が、中村川上流の矢倉山国有林で、スギの成長を妨げる雑木の除伐作業や植物探しゲームを行い、森林について学びました。鎌田優希君（3年）は「のこぎりで木を切るのは難しかった」と話してくれました。

県少年の主張大会で工藤さんが優秀賞に輝く

9月29日、「第45回青森県少年の主張大会」が鱈ヶ沢中学校で行われ、県内13校26名の中から原稿審査で選ばれた8名がそれぞれの思いを発表しました。

そのうちの1名に選ばれた鱈ヶ沢中学校（相馬治校長）の工藤春向さん（3年）は、『「あたりまえ」の幸せ』と題し、戦争のニュースを通して、身近な人へ感謝することの大切さを堂々と発表し、見事優秀賞に輝きました。

終了後、工藤さんは「発表する時は、大切な部分を強めに言ったり、聞いている人の顔を見ながら話したりするように工夫した」と話していました。



力強く主張を発表する工藤さん



感謝状を手にする東京鱒ヶ沢会役員と平田町長

惜しまれながらも東京鱒ヶ沢会が解散

10月3日、都内で東京鱒ヶ沢会（秋元謙治会長）の役員会が開催され、10月31日をもって同会の解散が議決されました。

秋元会長が「会員の高齢化と担い手不足のため、苦渋の決断」と述べると、平田町長は同会の運営に携わってきた役員をねぎらいました。

また、平成11年に発足して以来、首都圏における町出身者の交流や町の知名度アップ、物産の販路拡大など、多大な貢献をした秋元会長を含む役員11名に対し、感謝状を贈呈しました。

地域一丸で治水対策 中村町で植樹活動

10月5日、中村町において、舞戸地区町内会連絡協議会や中村町内会、舞戸小学校児童など関係者約70名がスギの植樹を行いました。

これは、（一社）日本木造分譲住宅協会、森林所有者、青森県、つがる森林組合が締結した「青森県森林づくり協定」によるもので、地域住民と一体となった森づくりや昨年の大雨災害に対する流域治水対策として行われたものです。

スギの苗木を植えた舞戸小学校の小山史史郎君（4年）は「災害防止につながる貴重な体験。成長するのが楽しみ」と話しました。



スギの苗木を植える平田町長と小山君



光信公の御霊に拝礼する平田町長

光信公の遺徳を後世に～大浦光信公慰霊祭～

津軽藩始祖と仰がれる大浦光信公の命日である10月8日、「大浦信濃守光信公慰霊祭（498年祭）」が光信公の館で行われ、厳かな雰囲気の中参加者は祭壇に玉串を奉納して光信公の御霊に手を合わせました。

参列者挨拶では、黒石津軽家・津軽承公^{つぐひる}さんが「今後も光信公ゆかりの5市町の発展と連携を願います」と挨拶したほか、津軽家15代当主・晋様からの挨拶が読み上げられました。

私たちは津軽藩発祥の地である鱒ヶ沢町に改めて誇りを持ち、津軽藩の始祖と呼ばれる光信公の遺徳を後世に伝えていきたいと思います。

芸術の秋 読書と音楽祭りを開催

10月9日、町教育委員会は「読書と音楽まつり」を日本海拠点館で実施し、約130名が芸術の秋を堪能しました。これは、読書や音楽に親しんでもらうために初めて開催されました。

会場では、本の交換会や読み聞かせグループ「ピース」による絵本の読み聞かせのほか、来場者による「上を向いて歩こう」などの合唱が行われ、歌声が会場内に響き渡りました。また、鱒ヶ沢中学校音楽部の三味線演奏やしおさいコーラスによる合唱が披露され、同まつりに華を添えていました。

来場者からは「みんなで一緒に歌ったりして気持ちが豊かになった」といった声が聞かれました。



交換する本を選ぶ来場者



○職業体験学習（2年生）

2年生の生徒9名が、9月12・13日の2日間、町内5つの事業所に分かれ職業体験をしました。どの職場においても、挨拶の大切さや仕事に対する責任の大きさなどを感じたようです。2日間という短い期間ながら、生徒が体験してきたことは、学校生活では体験することができない貴重なものです。約1年後の進路選択の際に、この体験が活かされることを願います。

職業体験学習に協力していただいた各事業所の方々に厚くお礼申し上げます。



舞戸保育所で職業体験学習

ます。貴重な体験をありがとうございました。

○ボランティア活動・炊事体験

9月15日、社会福祉法人つくし会を訪問し、高齢者の方のお世話をしたり、園児と一緒に遊んだりしたほか、施設内の清掃をしました。最後は、つくし荘で鰯ヶ沢甚句流し踊りを披露し、拍手喝采を浴びていました。

午後は学校に戻り、炊事体験をしました。班毎に食材を準備し、焼肉やたこ焼きなど、それぞれの班で炊事を楽しんでいました。



鰯ヶ沢甚句流し踊りの披露

○幻の魚「イトウ」現る

9月22日、生徒玄関前に設置されている水槽に、幻の魚「イトウ」が姿を

現しました。8月に発足した野外活動部がきっかけとなり、町からのご厚意でイトウ3匹を譲り受けました。イトウは、国内最大級の淡水魚で、大きいものでは体長が1m以上にも成長します。

イトウの飼育は野外活動部が担当し、大きく育てようと毎日の餌やりと水槽の環境整備を頑張っています。

○進路講話

9月26日、テレビで大活躍している王林さんが所属していた「りんご娘」をプロデュースした、有限会社リンドコミュニティックの樋川新一代表取締役を講師に迎え、「置かれた場所で夢を叶える」地方活性化アイドル達の挑戦」と題して、お話をいただきました。



水槽の中を泳ぐ「イトウ」

した。『子ども時代に強く描いたこと 夢が、現実となる』と樋川代表は伝え、生徒たちは夢を持つことの大切さを、改めて強く感じました。



進路講話

～鰯ヶ沢高校行事予定～

(11月)

- 11月3日(金・祝)・4日(土) 鰯高祭
- 11月6日(月)・7日(火) 振替休日
- 11月10日(金) 生徒会選挙

青森県立鰯ヶ沢高等学校 [☎72-2106]
HP : <http://www.ajigasawa-h.asn.ed.jp/>

毎月1日は「あじがさわ健康の日」

11月のテーマ「糖尿病」

～アルコールと糖尿病～

糖尿病はインスリンが分泌されないことや、インスリンがうまく使えないことで主に血液中のブドウ糖の値が高くなる病気で、1型糖尿病と2型糖尿病があります。

1型は自己免疫疾患などが原因でインスリン分泌細胞が破壊されるもので、インスリンの自己注射が必要です。一方、2型糖尿病は遺伝的要因のほか、過食（とくに高脂肪食）、運動不足、肥満やストレスなどの環境因子や加齢が加わり発症すると言われていますが、過剰なアルコール摂取が原因で糖尿病に至ることもあります。度を越した過剰なアルコール摂取は、肝臓に蓄積した脂肪への影響や、すい臓からのインスリン分泌を抑える影響から、血糖を上昇させるおそれがあると考えられています。

アルコールの過剰な摂取が続くと、肝硬変やすい炎を引き起こします。アルコール性肝硬変になると、高血糖になるほか、肝臓から必要なブドウ糖が放出されず、命にかかわるような低血糖を起こすことがあります。また、アルコール性すい炎ではすい臓が炎症を起こすため高血糖にも低血糖にもなりえます。

糖尿病は極度の高血糖の場合、のどの渇き、体重減少、疲労感などの症状が出てきますが、それまでは自覚症状がなく進行することが多いと言われています。糖尿病が進行すると目や腎臓、神経に影響を及ぼします。脂質異常症や高血圧などと共に脳卒中や虚血性心疾患（心筋梗塞や狭心症など）の危険因子となるほか、目や腎臓、神経などに合併症を引き起こす病気です。

適切な飲酒量と年に1回の健康診断で体の状態を把握しましょう。

参考：日本糖尿病学会 編著 糖尿病治療ガイド2022-2023、e-ヘルスネット

11月12日（日）
～18日（土）は
「全国糖尿病週間」



～お手軽元気健康チェック・脳健康チェック～のお知らせ

『お手軽元気健康チェック』では、**血圧・骨密度・体組成測定**などができます。短時間で測定できますので、日々の健康管理にお役立てください。

また、『**脳健康チェック**』もあわせて実施しますので、「最近もの忘れかな？と気になっている」、「探しものが増えた」などお困りのことがある方は、ぜひお越しください。

【期日】11月1日（水）

【時間】15：00～17：00（都合の良い時間にお越しください）

【会場】役場 1階 町民ホール

【その他】骨密度・対組成測定は素足での測定となります。タイツなどの着用はご遠慮ください。



五所川原保健所 こころの健康相談

11月9日（木）13：00～14：00 TEL：0173-34-2108（要予約）



【11月の乳幼児健診日程】

健診	健診日 [受付時間]	場所	対象	持ち物
1歳6か月児健診	11月16日(木) [12:45~13:00]	中央公民館 2階和室	令和4年3月生まれ 令和4年4月生まれ 令和4年5月生まれ	母子健康手帳 バスタオル 送付される問診票 ほか
乳児健診	11月30日(木) [13:00~13:20]		3か月児：令和5年7月生まれ 6か月児：令和5年5月生まれ 10か月児：令和5年1月生まれ	母子健康手帳 バスタオル

献血バスがやってきます!!

11月16日(木)

9:30~12:00 鯉ヶ沢町役場前

14:00~16:00 特別養護老人ホームつくし荘

人口減少や少子高齢化などにより、若年層の献血率の低下傾向が続いています。血液の安定供給が行われ、安心して医療が受けられるよう献血にご理解、ご協力をお願いいたします。

※献血はあじがさわ元気健康ポイントラリー対象事業です。

問ほけん福祉課 健康推進班(☎144・145・146・147)



母子支援センターだより



利用者からのメッセージ《第54回》

野呂 里沙さん(地区名：浜町)

赤ちゃんのことだけでなく、上の子たちのことまで気にかけてくれたり、話を聞いてアドバイスしてくれたり大変助かりました。

育児には慣れて余裕かと思いきや、上の子たちとはまた違って、「こうだったかな?」「あの時どうだった?」と思うことが多く、1日1日があっという間にすぎて、もう少し赤ちゃん時代をゆっくり



はすみ 春澄ちゃん

楽しみたいなあと思う毎日です。笑顔が素敵でみんなから可愛がられ、野呂家のアイドル♡いつまでも3人仲良く元気にたくましく大きくなあれ。

暖房器具やポットに注意!

子育て中は、思いもしない事故やケガが発生します。そんなとき、保護者さんは必ず「私が気をつけていればこんなことにならなかった」と自責の念を抱きます。後悔しないためにも、日頃から、事故やケガを防止する仕組みを作っていきましょう!

暖房器具：必ずガード(柵)を設置しましょう。

アイロン：使用時や使用後にお子さんが触れないようお子さんをサークルに入れるなどしましょう。

ポット：お子さんの手が届かない場所で使しましょう。

熱い飲み物・食べ物：お子さんを抱っこしながら飲んだり食べたりするのはやめましょう。

問ほけん福祉課 子ども家庭班 母子支援センター(☎156) ✉boshi-center@town.ajigasawa.lg.jp

こんにちは！地域包括支援センターです！！

～超高齢社会について考える～



65歳以上の人口が全人口に占める割合を高齢化率といい、これが21%を超えると「超高齢社会」と呼ばれます。鱒ヶ沢町の高齢化率は、令和5年9月末時点で45%を超え、超高齢社会のど真ん中！
困ったときはどうする？そんなときのヒントになるような学習会を全5回にわたって開催します。
気になる回だけの参加もOK！超高齢社会を元気に生きるために一緒に学んでみませんか？

❀ ～超高齢社会を考える学習会～ ❀

- 第1回 11月1日（水）
「町の現状について」～超高齢社会を元気に生きるために～
- 第2回 11月8日（水）
「認知症について」～避けては通れない認知症～
- 第3回 11月15日（水）
「こんなことで困ったら」～いろんな支援について～
- 第4回 11月22日（水）
「フレイル予防の生活」～食生活と運動～
- 第5回 11月29日（水）
「人生会議（ACP）について」～自分の人生は自分が決める～

- 場 所：舞戸公民館 講習室
- 時 間：9：45～11：00 ※受付：9：30～
- 講 師：地域包括支援センター職員 ほか
- 対 象：町民
- 料 金：無料
- 定 員：20名程度 ※参加者4名以上で開催
- 申込方法：下記まで電話でお申込みください
- 申込締切：各回前日まで



☎・問ほけん福祉課 地域包括支援センター（☎124、125、126）



認知症フォーラムの様子

認知症フォーラムを開催

9月21日、町は「鱒ヶ沢認知症フォーラム」を舞戸公民館で開催し、高齢者やそのご家族など約50名が参加しました。これは、認知症をより詳しく知ってもらうことを目的に開催しています。

会場では、認知症の特徴を分かりやすく紹介した寸劇「わぁ、おがしんだべが？」があじがさわ一座によって披露されたほか、健生五所川原診療所の津川信彦先生による認知症解説動画が流され、来場者は楽しみながら認知症への理解を深めていました。

※左の写真は、同日行われた鱒ヶ沢中学校の職業体験学習で、町の広報係を体験した加藤君が撮影したものです。（詳細は裏表紙）

雪の季節が近づいてきました 除排雪作業にご協力を

冬期間の安全・安心な生活確保のため、必ず守りましょう！

降雪などにより道路交通が阻害され、地域産業や住民の日常生活が停滞しないよう、除排雪体制を強化し、冬期間の安全確保に努めます。経済的・能率的に冬期間の交通を確保するため、下記事項について皆さまのご理解・ご協力をお願いします。

①路上駐車はしないでください

除雪作業は交通量の少ない深夜及び早朝の作業が主となり、降雪・地吹雪等のため視界が悪く非常に危険な作業です。1台でも路上駐車していると除雪が不可能となり、町内全体が迷惑します。『路上駐車はしない・させない』を合言葉に路上駐車をなくしましょう。

②道路に雪を出さないでください

宅地内の雪を道路に出すと、道路が狭くなり交通障害や交通事故などの原因となるおそれがあります。皆さまのご協力をお願いします。

③作業中の除雪車から離れましょう

除雪車から10m以内に入ると運転手からの死角となります。雪の中に混じっている碎石や木材、ガラスなどが飛散する場合がありますので、作業中は絶対に近寄らないでください。

④道路を広く使いましょう

私有物件（木材・鋼材・植木鉢など）が路上にはみ出していると、除雪車が巻き込み衝突など重大な事故発生の原因となりますので、あらかじめ取り除いてください。

⑤路上で自動車の運転ができなくなったら、目印に赤旗を立ててください

車の乗り捨ては降雪などで埋まり、除雪車が衝突するおそれがあります。（※目印はできるだけ高く！）

⑥除雪作業は『右側走行除雪』も行います

風向、その日の道路条件などで右側を走行しながら除雪を行う場合もあります。除雪作業中は事故防止のため「黄色回転灯」を点灯し走行していますので、その際は徐行をお願いします。

⑦除雪作業車による物件破損などを発見したら、速やかにご連絡ください

物件破損は、発見と同時に速やかに報告してください。発見後、報告が遅れると原因究明が困難となり、補償の対象にならない場合もあります。

⑧雪の堆積場所のご協力をお願いします

冬期間使用していない私有地（畑・空き地など）を雪の堆積場所として利用するため、除雪業者がお願いに伺いますので、何卒ご協力をお願いいたします。

《お知らせ》

◎歩道除雪の目的に限り、小型除雪機（ハンドガイド式）を、町内会・PTA・ボランティア団体などに貸出します。

ご利用希望の場合は、建設管財課までご連絡ください。

◎除雪及び排雪作業を、迅速・安全に進めるために、道路を一時通行規制する場合があります。

室内温水プール臨時休館情報

11月11日(土)～12日(日)
 全国JOCジュニアオリンピック
 カップ春季水泳競技大会県予選会

なお、施設利用状況などはホームページをご覧ください。



☎室内温水プール[☎72-5700]

利用状況等は
 こちらから



住民観光意識調査にご協力をお願いします

町が参画している(一社)Clan PEONY津軽では、住民観光意識調査を実施しています。

当調査は、お住まいの地域の観光に対する考え方や思いを知るためのものです。いただいた回答は、津軽地域の観光促進のための参考とさせていただきます。

対象地域▶弘前市、黒石市、五所川原市、つがる市、平川市、鱒ヶ沢町、深浦町、西目屋村、藤崎町、大鰐町、田舎館村、板柳町、鶴田町、中泊町

特典▶アンケートにご回答いただいた方の中から抽選で、3か月ごとに15名様へ津軽地域の特産品セット(3,000円相当)をプレゼントします。

調査期間▶令和6年3月末まで

※アンケートの回答は実施期間内でお一人様1回までとさせていただきます。

☎(一社)Clan PEONY津軽[☎0172-88-6090]

アンケートは
 こちらから



配管工認定講習 責任技術者・配管工更新講習

講習日▶令和6年1月16日(火)～1月26日(金)

講習会場▶

- ・配管工認定講習は以下の3会場から選択
 青森市、弘前市、八戸市
- ・責任技術者更新講習は以下の6会場から選択
 青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、むつ市、十和田市
- ・配管工更新講習は以下の5会場から選択
 青森市、弘前市、八戸市、五所川原市、むつ市

受講手数料▶配管工認定講習 7,000円
 責任技術者更新講習 7,000円
 配管工更新講習 5,000円

※受講手数料の振込手数料は受講者の負担となります。

申込受付日▶11月7日(火)～30日(木)

受験資格など、詳しくは「青森県下水道協会ホームページ」(<http://www.aomori-pswa.jp/>)をご覧ください。

☎・☎水道課 下水道班[☎216]

新型コロナウイルス感染症 対策資金利子補給補助金

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、運転資金などを借入した事業者に対して、国または県からの利子補給後、町から最高6年分の利子補給を行います。

支給対象者

令和2年1月29日から令和3年3月31日までの間に、次の新型コロナウイルス感染症に対応した融資制度を利用して、融資を受けた事業者

- ・青森県経営安定化サポート資金特別保証融資制度
- ・政府系金融機関の融資制度

補助対象利子

- ・新型コロナウイルス感染症に対応した融資制度の借入金総額(上限4,000万円)から生じる利子
- ・国または県から3年間利子補給を受けた後、事業者が利子の支払いを開始した月から起算して6年を経過する月まで

受付期間

12月1日(金)まで

申請方法

申請書など必要書類一式を下記へ提出してください。申請書などは町ホームページからダウンロードするか、下記窓口で配布しています。

※申請は予約制としますので、電話にて事前予約をお願いします。

☎・☎政策推進課 観光商工班[☎344]

コーヒー教室開催

～初心者のための美味しいコーヒーの淹れ方～

町教育委員会では、町民を対象とした初心者のためのコーヒー教室を開催します。

ハンドドリップで淹れる自分だけの1杯とちょっとしたお菓子、そして心地良い音楽の流れる空間で癒しのひと時を過ごしませんか?



日時▶11月17日(金) 18:30～20:00

場所▶日本海拠点館 1階 喫茶コーナー

内容▶ハンドドリップの基礎を学ぶ

講師▶café水とコーヒー 代表 太田 正史氏

参加料▶1,000円

定員▶10名 ※先着順

申込締切▶11月13日(月) ※定員になり次第締切ります

☎・☎社会教育課 社会教育班[☎363]

11月30日(木)は

【第4期】固定資産税

【第5期】国民健康保険税、介護保険料、後期高齢者医療保険料

の納期限となっています。

～納め忘れのないようお願いします～

※口座振替で納付いただいている方は、納期限までに口座残高の確認をお願いします。

鱒ヶ沢はまなす学級第5回学習会 並びに閉講式

日時▶11月6日(月) 10:00~11:30(受付9:30~)

会場▶舞戸公民館 大ホール

内容▶10:00~ 健康ミニ講座

10:20~ 学習会(講演)

演題「鱒ヶ沢のまちづくりについて」

講師 鱒ヶ沢町長 平田 衛

11:15~ 閉講式

※お知らせ

これまでの学習会でお配りした、町ほけん福祉課発行の「あじがさわ元気健康ポイントラリー」のチケットが3ポイントたまった方は、受付にてごみ袋と交換し、応募することができますので、ぜひお持ちください。

甲・圃社会教育課 社会教育班(☎365)

鳥インフルエンザの発生を防ぎましょう

鳥インフルエンザウイルスは、渡り鳥によって海外から持ち込まれると考えられています。秋から冬は渡りが始まり本病発生の警戒が必要となる時期ですので、次のことに注意してください。

家きん※を飼っている場合

- ① 渡り鳥や野鳥、ねずみなどの野生動物との接触を避けるため、野外での放し飼いをしないようにしましょう。また、飼育小屋は防鳥ネット(2cm角以下)で囲って定期的に点検し、破損箇所はすぐに修繕しましょう。
 - ② 飼育小屋は定期的に消毒し、清潔な状態で飼育しましょう。
 - ③ 世話をするときには専用の履物と衣服を身に着け、終了後は履物、衣類、手指の消毒をしましょう。車両は農場の出入り口で入念に消毒しましょう。
 - ④ 家きんに異常が見られたら、すぐにつがる家畜保健衛生所(☎0173-42-2276)に連絡してください。
- ※家きんとは、鶏、あひる、うずら、きじ、だちょう、ぼろぼろ鳥、七面鳥

死亡した野鳥を見つけた場合

- ① 野鳥は鳥インフルエンザウイルス以外にも様々な細菌や寄生虫を持っていることがあるので、素手では触らないようにしましょう。
 - ② 多数の野鳥がまとまって死亡している場合は、下記までご相談ください。
 - ③ ②以外の場合で死亡した野鳥を処理する際は、ビニール袋に入れ燃やせるごみとして処分してください。
- 圃農林水産課 農業経営班(☎226)

後期高齢者医療被保険者の皆さまへ ～保険料の納め方について～

新たに後期高齢者医療被保険者になられた方や、前年中に世帯の異動や所得の変動などがあった場合は、納付書で納めていただくことになります。

年金からの天引きにより納めていただくには半年程かかります。それまでの間は、納め忘れのない口座振替をぜひご利用ください。

申込方法については、下記へお問合せください。

なお、これまで国民健康保険税を口座振替していた方につきましても、新たに口座振替の申込が必要です。

圃ほけん福祉課 国民健康保険(☎135)

★今月のおすすめ本★

《一般書》「ヨモツイクサ」

著：知念 実希人／出版社：双葉社

「黄泉の森には絶対に入ってはならない」。人なのか、ヒグマなのか、禁域の森には未知なる生物がいる。究極の遺伝子を持ち、生命を喰い尽くすその名は——ヨモツイクサ。北海道旭川に《黄泉の森》と呼ばれ、アイヌの人々が怖れてきた禁域があった。その禁域を大手ホテル会社が開発しようとするのだが、作業員が行方不明になってしまう。現場には《何か》に蹂躪された痕跡だけが残されていた。もしかして、ヨモツイクサの仕業なのか。



《児童書》「だいじだいじどこだ？」

作：えんみ さきこ 絵：かわはら みずまる

／出版社：大泉書店

性教育のはじめの一步は、幼いころから自分の「からだ」や「プライベートパーツ」を理解し、自分も他人も大切な存在だということを認識することが大切です。からだの大切さだけでなく、一人ひとりが大切な存在ということを伝える「はじめての「からだ」と「性」のえほん」です。



おすすめ本は、日本海拠点館図書コーナーで借りることができますので、ぜひご利用ください。なお、新刊図書は好評につき、貸出中の場合があります。1人2冊までの貸出制限にご理解とご協力をお願いします。(予約可)

日本海拠点館では小学生以下のお子さんを対象に「こどもブックラリー」を実施しています。奮ってご参加ください。

開館時間▶9:00~18:00

休館日▶月、火曜日(図書コーナーのみ第4木曜日もお休みです。)

返却場所▶日本海拠点館・中央公民館・舞戸公民館

圃日本海拠点館 図書コーナー(☎72-5555)

2023年漁業センサスを実施します - 調査回答にご協力ください -

農林水産省では、11月1日を基準日として「2023年漁業センサス」を実施します。

「漁業に従事しているのは何人か」「どのような船を所有しているか」「どのような方法で、どのような種類の魚が獲れたか」などを調査することで、漁業を取りまく実態と変化を総合的に判断し、その結果は、水産行政の推進に必要な基礎資料として活用されます。

漁業を営む世帯へは、調査員が訪問し調査票をお届けしますので、調査の趣旨をご理解いただき、調査回答にご協力ください。



漁業センサス

圃政策推進課 政策調整班(☎335)

光信公ゆかりの地・秋田県横手市で開催 歴史文化で結ぶ交流宣言事業

9月30日・10月1日の両日、秋田県横手市において、津軽藩始祖・大浦光信公ゆかりの5自治体による「歴史文化で結ぶ都市間交流宣言事業」が開催されました。



交流宣言書と光信公「武将印」を手に連携をPR
左から、遠藤譲一久慈市長・平田町長・高橋大横手市長
・出崎和夫弘前市副市長（市長代理）・高樋憲黒石市長



各自治体の観光物産販売（歴史発表会会場前）
「蔵の日」には増田町に残る内蔵の一斉公開のほか、
各種イベントが行われた

開催となりました。

■光信公ゆかりの5自治体が集結

9月30日の連携会議には、各自治体の首長が出席。それぞれ取り組んでいる施策や歴史に関わる事業などについて発表を行いました。そのうえで今後の連携継続と、次回の開催地を弘前市とすることを決定。令和2年に採択した交流宣言を高橋大横手市長が読み上げ、結束をアピールしました。

この事業は、令和2年、光信公の鯨ヶ沢町入部530年を記念し、当町の呼びかけにより始まったもの。光信の祖父がいたとされる横手市、光信の出身地久慈市、さらに光信を始祖とする津軽藩の城下町弘前市、そして分家の黒石市と、歴史的なつながりを軸にした交流事業を毎年持ち回りで実施しています。令和2年の鯨ヶ沢町、令和4年の久慈市（コロナによる延期開催）に続き、今回の横手市で3回目の

開催となりました。翌10月1日は、伝統的町並みが残る横手市増田町の「蔵の日」に合わせて歴史発表会を開催。江戸時代の内蔵を会場に、各自治体の担当者が光信公や津軽藩の歴史にまつわる発表を行います。



津軽家ゆかりの名品が並ぶ「光信公の館」企画展
（後三年合戦金沢資料館）

■「光信公の館」出張展示も

一方、9月23日からは、横手市の後三年合戦金沢資料館で「光信公の館と津軽家ゆかり展」を開催。種里城跡の発掘資料に加え、江戸時代に津軽藩本陣屋敷があった横手市との関わりから、現在東京在住の津軽家が所蔵する江戸津軽屋敷資料を中心とした名品の数々が特別展示されました（江戸屋敷については8月号参照）。

令和2年、光信公入部530年の年に鯨ヶ沢町から始まった交流事業が、来年、大きな流れとなって再び青森県（弘前市）に戻ってきます。今後のさらなる交流の輪の広がりにご期待ください。

（町学芸員 中田）

横手市と津軽藩のご縁

近年の歴史研究によれば、光信の祖父にあたる金沢右京亮（家光）は、横手市の金沢城の城主でしたが、後に小野寺氏との合戦により自害。その幼子（光信の父・家信）は家臣に助け出されて南部領に逃れ、久慈の領主になったとされています。

金沢城跡の発掘調査では、金沢右京亮の時代の陶磁器類も出土しており、津軽家ルーツの地として関心が高まっています。

また江戸時代、羽州街道の宿場町であった横手には、参勤交代で江戸と弘前を行き来する津軽藩主の本陣屋敷（宿泊所）が置かれていました。市内の正法寺には、旅の途中で亡くなった9代藩主津軽寧親の側室「お房の方」の墓もあり、歴史の縁を今に伝えています。



光信公の祖父の城とされる金沢城跡
（横手市教育委員会提供）

津軽の中の鯺ヶ沢

第30回

日本海海運と鯺ヶ沢③

前回は、日本海海運の整備と発達に伴い、廻船の経営形態が変化したことについて触れました。今回から、廻船と取引をする船問屋（廻船問屋）について取り上げます。

廻船は海を渡って商品を輸送し、よそで売るのが主な活動です。そして、その活動を手助けしたのが、各地の湊に店を構えた船問屋です。船問屋は、廻船が輸送した商品を売買したり、保管したり、運送を取り次いだりして、商品の取引を仲介し、その口銭で利益を得ていました。なかには、廻船の船員（船頭や水主など）に飲食や宿泊場所を提供する船宿を経営する者や、自ら船を所有して海運に参入し、北前船のように買積を行う者もいました。このように、船問屋の業務は幅広く、商機に敏感でなければ成り立たないものでした。

それでは、鯺ヶ沢にはどのような船問屋がいたのでしょうか。18世紀半ばに津軽各地を訪れて見聞きしたことを記した『津軽見聞記』によると、鯺ヶ沢には12軒の「問屋」と9軒の「運送方」がいたようです。ここでいう「問屋」は、商品の取引仲介や保管、船宿業を営む問屋を、「運送方」は、商品

の運送手配などを営む問屋を指していると考えられます。このうち、「問屋」と「運送方」を兼業していたのが、三国屋儀右衛門・笠嶋屋十郎兵衛・菊屋善左衛門・能登屋清兵衛の4軒です。

『鯺ヶ沢町史 第二巻』によると、笠嶋氏は藩政時代初期から鯺ヶ沢で船問屋として活躍していたようです。しかし、元禄5年（1692）、大坂に領内米を輸送するために藩が手配した船の宿泊先が笠嶋氏に独占されており、他の船問屋が迷惑していると訴えがあったために、分散させて宿泊させるよう藩命がありました。『鯺ヶ沢町史』では、船問屋と湊役人の癒着の一端としてとらえています。それだけではなく、笠嶋氏が商機を逃さず活動していたことも意味していると考えられます。

また、12軒の「問屋」と9軒の「運送方」の屋号から、日本海沿岸各地から鯺ヶ沢にやってきて店を構えた者が多かったことがわかります。どのような傾向があり、鯺ヶ沢でどのような経営を行ったのか、詳しくは次回取り上げたいと思います。

（北斗高校 葛谷大輔）

よみがえる港町の歴史情緒

鯺ヶ沢音頭・小唄

～ゆかりの天童山から動画発信～



今年7月、天童山公園で行われた踊りの収録



現地案内板
二次元
バーコード



鯺ヶ沢小唄



鯺ヶ沢音頭

動画はYouTube町公式チャンネルで公開しています

鯺ヶ沢音頭と鯺ヶ沢小唄は、昭和7年（1932）、鯺ヶ沢築港工事起工を記念して作られました。どちらも当時の鯺ヶ沢の港町情緒を歌いあげた、90年以上の歴史をもつご当地ソングです。なかでも「♪天童山から指さす沖に一」でおなじみの鯺ヶ沢音頭は、戦後も長く町民に親しまれ、昔はさまざまな催しや学校の運動会などで踊られていました。皆さんもご記憶の方が多いのではないのでしょうか。

町では、昨年、鯺ヶ沢港を見下ろす天童山公園の説明板などを一新し、観光名所としてPRに取り組んでいます。今年はその一環として、築港工事で切り崩されたゆかりの地・天童山で鯺ヶ沢音頭と鯺ヶ沢小唄の記録映像を撮影。新たにインターネットによる動画配信を開始しました。

今回踊りの収録には町無形文化財保存会の皆さんに協力をいただき、ドローンや360度カメラも駆使して撮影。町文化財審議会委員の工藤健さんが編集を手がけ、歌と踊り、港町の風景を一緒に楽しめるすばらしい動画が完成しました。

動画は、天童山公園の案内板にある二次元バーコードからスマホなどでも視聴いただけます。見学の際には、ぜひ現地の景色とともに楽しみください。（町学芸員 中田）

看護のお仕事移動相談

青森県看護協会ナースセンターでは、無料職業紹介事業として看護職の相談員が最寄りのハローワークに出向いて、看護職の皆さまのお仕事探しをサポートします。ぜひお気軽にお越しください。

詳細はこちらから



■ハローワーク五所川原

開催日▶11月22日(水)、12月27日(水)、令和6年1月24日(水)、2月28日(水)、3月27日(水)
時間▶9:00~11:30(随時受付)

■弘前就労支援センター(ヒロロスクエア内)

開催日▶11月20日(月)、12月18日(月)、令和6年1月15日(月)、2月19日(月)、3月18日(月)
時間▶13:00~16:00(随時受付)

※青森県ナースセンター(青森市)では、月曜日から金曜日の9:00~16:00まで、来所・電話・メールなどで、随時相談を受付けていますのでご利用ください。



☎(公社)青森県看護協会

青森県ナースセンター

☎017-723-4580

✉aomori@nurse-center.net

CONVEY VILLAGE お山の上マルシェ vol. 2

お山の上マルシェはりんご!りんご!りんご!工房周りの自然環境を活かし鱈ヶ沢の魅力発信!食を通じてHappyになる時間を過ごしましょう。

ホームページはこちらから



詳しくはホームページをご覧ください。

日時▶11月18日(土) 11:00~16:00

場所▶CONVEYお山の上工房&周辺(鱈ヶ沢町大字建石町字成沢53-2)

駐車場代▶1,000円(お得な前売り券あり)

☎株式会社CONVEY

☎080-4200-1646

「女性の人権ホットライン」強化週間

下記の強化週間中、平日の電話相談時間を延長し、土・日も電話相談を行います。相談は無料、秘密は守ります。ひとりで悩まず、相談してください。

期間▶11月15日(水)~21日(火)

期間中の電話相談時間

平日 8:30~19:00

土・日 10:00~17:00

女性の人権ホットライン

☎0570-070-810

通常は、土・日・祝日を除く平日8:30~17:15まで相談を受付けています。

☎青森地方法務局人権擁護課

☎017-776-9024

鱈ヶ沢町地域職業相談室のご案内

鱈ヶ沢町地域職業相談室は、ハローワークと鱈ヶ沢町の共同運営施設です。お仕事の内容や応募条件の確認、面接対策や応募書類の書き方など、皆さまのお仕事探しのお手伝いを行っています。

また、全国のハローワークで受付した求人票を見ることができ、季節求人も含め随時更新されています。ぜひ、お気軽にご利用ください。

利用日▶月~金曜日

(土日祝・年末年始除く)

時間▶9:30~17:00

場所▶鱈ヶ沢町中央公民館1階

☎鱈ヶ沢町地域職業相談室

☎72-3124

生活困窮に関する困りごと相談はこちらへ あんしん相談窓口あじがさわ

鱈ヶ沢町社会福祉協議会では、生活していくうえで様々な課題を抱える住民の方を支援するための相談を受付けています。

また、相談ツールのひとつとして、メール相談・LINE相談も行っています。

ひとりで悩まず、お気軽に下記までご相談ください。費用は無料、秘密は厳守します。


メール相談用アドレス
ajisya@chic.ocn.ne.jp

☎鱈ヶ沢町社会福祉協議会

☎82-1602

LINE相談はこちらから



医療法人 梟衆会
 **セツ石内科** 鱈ヶ沢町大字セツ石町27-1
 TEL 0173-72-2879
 厚生労働大臣認定
 今労働衛生コンサルタント・産業医事務所
 院長 今 昭人
 ■受付時間 / 午前 8:30~13:00
 午後 14:30~18:00
 ■休診日 / 木曜日・日曜日・祝日

現金買取 鉄・非鉄・農機具類

株式会社 高橋商事 五所川原営業所

引取りもご相談ください

つがる市柏鷲坂清見 71-16



TEL 0173-26-7576



広報あじがさわ有料広告

**あおもり性暴力被害者支援センター
専用相談電話・ボランティア募集**

あおもり性暴力被害者支援センターは、レイプやわいせつな行為など、性犯罪・性暴力の被害にあわれた方やそのご家族などからの相談を受け、要望に応じた必要な支援をコーディネートします。秘密は厳守します。



りんごの花ホットライン(専用相談電話)

☎017-777-8349 または ☎#8891

※専門研修を受けた相談員が対応します。

相談受付時間

月～金曜日9:00～17:00

(上記時間以外、土・日・祝日・年末年始は、国のコールセンターにつながります。)

☎青森県青少年・男女共同参画課
[☎017-734-9228]

青森県が上記センターの運営を委託している公益社団法人あおもり被害者支援センターでは、ボランティアの支援活動を募集しています。活動に関心のある方は、下記へお問合せください。

☎(公社)あおもり被害者支援センター
[☎017-718-2085]

**令和6年度母子父子寡婦福祉
資金の予約貸付申請を受付します**

令和6年度に、高等学校・大学・専門学校などに進学を予定しているお子さんを扶養しているひとり親家庭などを対象とした修学資金などの予約貸付申請の受付を行います。

対象資金の種類

- ①修学資金(授業料、書籍代、交通費などに必要な資金)
- ②修業資金(就職などに必要な知識技能を習得するための資金)
- ③就学支度資金(就学・修業するために必要な被服などの購入に必要な資金)

事前相談・申請受付場所

西北地域県民局 地域健康福祉部
福祉子ども総室〔西北地方福祉事務所〕
(五所川原市栄町10 青森県五所川原合同庁舎2階)

受付期間▶11月1日(水)～

令和6年1月31日(水)

その他▶貸付には原則として連帯保証人が必要です。また、面接調査があり、審査会を経て貸付の可否が決定されます。

☎・☎西北地方福祉事務所
[☎0173-35-2156]

知ってほしいな「里親」のこと

弘前乳児院では、アニメで見る「里親制度」動画を作成しました。ぜひご覧ください。

当院は、里親制度のPRから研修、継続的な支援など様々なサポートを行うフォスタリング機関(津軽地域)を担っています。

動画は
こちらから



新しい家族のカタチ

子どもたちが安心して生活できる健やかな育ちの場を提供して下さる方を必要としています。



☎弘前乳児院[☎0172-35-2155]

第3回 青森県 県民公開講座

青森県・弘前大学医学部附属病院脳卒中・心臓病等総合支援センターでは、県民公開講座を開催します。参加、相談ともに無料です。

日時▶11月14日(火)

15:00～16:00

場所および定員

- ①弘前大学医学部コミュニケーションセンター(100名)
- ②弘前大学医学部附属病院1階 脳卒中・心臓病等総合支援センター内にて実況放送(10名)
- ③Zoomにて配信(100名)

内容▶ミニ講義「心臓病を悪化させない食事のコツ」、ミニ講義「心臓病のお薬との付き合い方、個別相談会(希望者のみ)

※メールやお電話でもご相談できます。

☎・☎青森県・弘前大学医学部附属病院 脳卒中・心臓病等総合支援センター
[☎0172-39-5459]

申込は
こちらから



**教員として西北地区で働いてみませんか?
～第2回ペーパーティーチャー向け説明会開催～**

教員免許更新制が解消され、令和4年7月1日以降の免許状の取扱いが変更となりました。教員免許はあるものの、教職経験のない方や、様々な理由で教職を離れている方に対して、変更後の免許状の取扱いや、教員の仕事について説明しますので、ぜひ足を運んでください。



日時▶12月3日(日)14:00～15:30(説明終了後、個別相談を実施)

場所▶五所川原合同庁舎1階C会議室(五所川原市栄町10)

申込方法▶電話またはメールで下記へお申込みください。(申込の際は、氏名、電話番号、所持教員免許状、免許取得年月をお知らせ願います)

☎・☎西北教育事務所 総務課
[☎0173-35-2170 / ✉E-SEIHOKU@pref.aomori.lg.jp]

B型肝炎訴訟 無料電話相談会

B型肝炎被害対策東北弁護団の弁護士が、B型肝炎訴訟について無料電話相談をお受けします。この機会にぜひご相談ください。(通話料はご負担ください。)

日時▶11月18日(土)10:00～18:00

対象▶B型肝炎患者またはそのご家族

(患者が亡くなっている場合はその相続人)

電話相談番号▶☎022-266-3025 または ☎022-266-3026

☎B型肝炎被害対策東北弁護団事務局(小野寺友宏法律事務所内)
[☎0120-76-0152]

社会福祉法人 音羽会

〒038-2712 鯉ヶ沢町大字長平町字甲音羽山 65-412

介護老人保健施設 ながだい荘(入所・通所)

☎0173-72-1122

グループホーム うぐいすの里

☎0173-72-1314

〒036-8066 弘前市向外瀬字豊田 319-1

住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅

シニアシティ弘前

☎0172-55-5858

天然温泉、全個室：エアコン・トイレ・洗面台・ミニキッチン(IHヒータ)付

ホームページ <http://otowakai.or.jp/>

参加チーム大募集！鱈ヶ沢 ナイターバスケットボール大会

第37回鱈ヶ沢ナイターバスケットボール大会が下記のとおり開催されます。

参加チームの募集をしていますので、ぜひお申込みください。

日時▶令和5年11月中旬

～令和6年2月上旬（予定）

毎週火・木曜日19：00～21：00

場所▶鱈ヶ沢中学校 第二体育館

（旧鱈一中体育館）

参加資格▶鱈ヶ沢町在住または勤務者

（50歳以上は町外OK）

※ただし特別枠3名までは上記資格がなくても出場可（登録人数は無制限）

※50歳超の方の複数チームへの登録可

※主催者認定のチームは上記条件に限らない

参加費▶1チーム10,000円

（審判委託は+15,000円）

保険料▶廃止（各自保険加入願います）

締切▶11月6日（月）17：00

〒・〒鱈ヶ沢ナイターバスケットボール大会事務局 長谷川

[☎090-6250-9696]



【農家の方・産直関係者の方等向け】インターネット・SNS活用講座を開催

西北地域県民局では、農家の方や産直関係者の方を対象に、農産物や加工品をSNSで情報発信したり、インターネットなどでの販売を行うために必要なICTに関するスキルや知識を習得するための講座を下記のとおり開催します。

SNSやインターネットの活用に興味のある方はぜひご応募ください。各回テーマや申込方法などは県ホームページをご確認ください。

日程▶第1回 12月6日（水）13：30～15：00

第2回 12月12日（火）13：30～16：30

会場▶つがる市生涯学習交流センター「松の館」会議室B

申込期限▶11月30日（木）

〒・〒西北地域県民局 地域連携部[☎0173-34-2175]

詳細は
こちらから



青森県中小企業者等LPガス・特別高圧電気価格高騰対策支援金

青森県では、エネルギー価格高騰の影響により、厳しい経営環境が続いている県内中小企業者の負担軽減を図るため、国の「電気・ガス価格激変緩和対策事業」の支援対象外となっている「LPガス」や「特別高圧電気」を使用する県内中小企業者に対し、その使用量に応じて支援金を給付します。

支援金制度についての詳細は、県ホームページをご覧ください。

給付額▶令和5年1～9月分の使用量に支援単価を乗じた額

	1～8月分	9月分
業務用LPガス	62円/m ³	31円/m ³
特別高圧電気	2.5円/kWh（上限月50万円）	1.25円/kWh（上限月25万円）

※家庭用を対象としたLPガス料金の値引きや、県のほかの支援金の対象となる場合は対象外です。

申請先▶主たる事業所の所在地を所管する商工会、商工会議所又は青森県商工会連合会

申請受付期間▶11月30日（木）まで ※郵送の場合は当日消印有効

専用電話相談窓口▶☎0120-66-0217（通話料無料）

※12月25日（月）までの平日9：00～17：00に開設

〒青森県商工労働部 地域産業課[☎017-734-9373]

詳細は
こちらから



ねえ！宮下知事 事業を継ぐって、難しい？

青森県
www.aomori-pref.government.jp

さまざまな事業承継を県と関係機関が全力でサポートします！

親族内承継

従業員への承継

第三者への承継

- 親族に後継者がおらず、廃業又は会社やお店の譲渡を考えている方
- 後継者のいない会社を引き受けて事業を拡大したい方
- 具体的にどのように承継すればよいかわからない方

まずはお気軽にご相談ください。

～事業承継の相談をワンストップで～
青森県事業承継・引継ぎ支援センター
（公財）21あおり産業総合支援センター内

TEL 017-723-1040 FAX 017-735-5777
E-mail hikitsugi@21aomori.or.jp
https://www.21aomori.or.jp/jigyoushoukei



なに？王林さん

事業承継で悩んだら、早めに相談しましょう！

今月の戸籍の窓

※下記は、関係者に確認のうえ、了承を得た方のみ掲載しています。

こんにちは！ 赤ちゃん (9月16日～10月15日届出分)

成田 哲平 (怜央)	新田
齋藤 らん (祥平)	上野

お悔やみ申し上げます (9月16日～10月15日届出分)

寺沢 まさ (82歳)	赤石
坂本 春美 (84歳)	小夜
神 スミエ (89歳)	川尻
須藤 幸男 (72歳)	南浮田町
鍋谷 聖道 (90歳)	本町二丁目
長内 ヤツエ (89歳)	鳴戸ヶ丘
茶谷 りつゑ (94歳)	南浮田町
今別 美智子 (74歳)	米町

鱈ヶ沢町の人口 (令和5年9月末現在)

男 4,121人(4,123 - 2) 女 4,676人(4,694 - 18)
計 8,797人(8,817 - 20) 世帯数 4,372(4,375 - 3)
※カッコ内は先月との比較

交通事故発生状況 (令和5年9月中)

発生件数 9件(± 0) 死者数 0人(± 0)
傷者数 9人(- 2) ※カッコ内は前年との比較
《お問合せ》鱈ヶ沢警察署交通課 (☎72-2151)



法テラス鱈ヶ沢通信 Vol.96

法律家の人となり Vol.1 [聖人君子]

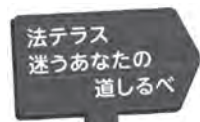
「他人の人生を左右する仕事をしているのだから、法律家は聖人君子のような人であってほしい」。時には人の生命をも奪う判決に関わることもあるのですから、一般の方が法律家に高潔な人格を求めるのも無理はないような気がします。

でも、法律家だって人間です。トイレにも行くし、忘れ物をする時もあります。家に帰ったら夫婦げんかをしているかもしれません。しかし、法律家自身がそのような神ならぬ人間であるからこそ、相談に来る方々の心の痛みや苦悩もわかるというものです。

技術の進歩で、いつか完全無欠なAI弁護士なるものが登場したとしても、私だったらこのような相談対応をされたら嫌ですね。

「ワタシ、カンペキダカラ、マチガイオコサナイ。ダカラ、アナタモ、ナヤムヒツヨウナイ。ハイ、ソウダンヨワリ。ソウダンリョウ5500エン、イタダキマス。」

弁護士 伊藤 雅典



【法テラス鱈ヶ沢法律事務所の概要】

- ◆所在地 〒038-2761
鱈ヶ沢町大字舞戸町字後家屋敷9-4
鱈ヶ沢町総合保健福祉センター内
- ◆業務時間 月～金 9:00～17:00
(土・日・祝日は休業)
- ◆電話番号 050-3383-8369
- ◆業 務

①法律相談 (面談による相談。★事前予約制★)

- ・有料での法律相談
- ・無料法律相談 (収入や預貯金が少ない方。ただし、刑事事件に関する相談は対象外。)

※65歳以上のご高齢の方、障がいや病気で外出ができない方など、法律事務所へ赴くことが困難な場合には、弁護士による出張法律相談ができる場合があります。お気軽に法テラス鱈ヶ沢法律事務所までお電話ください。

②事件の受任

訴訟手続代理業務や債務整理代理業務など

～鱈ヶ沢町にお住まいのみなさまへ～

弁護士に相談することなのか分からない場合でもお気軽にお電話ください!!
お待ちしております。



認知症フォーラムの展示品などを撮影する加藤君



アユの急速冷凍作業に挑む高橋君

町役場などで職業体験学習が行われました

9月20、21日に鯉ヶ沢中学校（相馬治校長）の3年生9名が、町内の事業所14か所で職業体験学習（インターンシップ）を行いました。

これは、働く体験を通して、よりよい職業観などの創出を目的として実施されています。

このうち、町役場では2名が職業体験学習を行い、総務課や水道課、農林水産課など5つの課で、郵便物の仕分けや文書を封入する作業などを体験しました。

また、2日目の午後にはそれぞれほけん福祉課、政策推進課に配属され、同日行われた認知症フォーラムで展示コーナーの準備や広報紙の取材などを体験しました。

取材体験をした加藤すばる君は「写真を撮る場所選びが難しい。奥が深いと感じた」と話していました。

また、9月12、13日には鯉ヶ沢高校（川浪泰浩校長）の2年生9名も職業体験を実施しました。町役場では高橋大翔君が社会教育課や農林水産課などに配属され、日本海拠点館図書コーナーでの本の貸出業務や出荷するアユの急速冷凍作業などを体験しました。

※10ページの認知症フォーラムの記事には、加藤君が撮影した写真を使用しました。

切り絵を使った巨大紙芝居が完成！

このたび、読み聞かせサークル「さざなみ」（田澤裕子代表）や「ピース」（佐藤真喜子代表）のメンバーなど総勢11名が、町に古くから伝わる昔話「さんごきつね」の巨大切り絵紙芝居を完成させました。巨大紙芝居の制作は前作の「光信公の鬼退治」に続いて2作目です。

紙芝居は大きさ縦約80cm、横約110cm、27枚からなり、故・長尾金之助さん（新町）の切り絵を基に、西海小学校の一室を借りて作られました。メンバーは1枚1枚、基になる絵が印刷された紙から不要な部分を丁寧に切り取り、色紙などを貼り付ける作業を繰り返し、完成までに約5年の歳月がかかったとのこと。

10月17日、完成した巨大紙芝居の初めての読み聞かせが舞戸小学校（三橋豊校長）の全校児童を対象に行われ、児童からは「細かい部分まで切り絵で表現されていてすごい」との声が聞かれました。なお、11月中旬には西海小学校で同紙芝居の読み聞かせが行われる予定です。

次の紙芝居作りについて佐藤代表は「若い人が入ってくれば、ぜひ作りたい。読み聞かせは苦手でも、切り絵作りは手伝えるという人がいればぜひ」と話していました。



読み聞かせのようす



さんごきつねの巨大紙芝居初披露を終えたメンバー